



行事予定



- 2日(金) 5・6年生登校日
- 6日(火) 1・2・4年生登校日
- 7日(水) 全校登校日・校内水泳記録会(9:00～)
- 13日(火)～16日(金) 学校閉庁日
- 21日(水) プール開放・ラジオ体操最終日
- 22日(木) 全校登校日
- 23日(金) 3年生登校日(生き物観察会)
- 24日(土) Jr. トライアスロン珠洲
- 25日(日) トライアスロン珠洲
- 26日(月) 3年以上登校日
PTA役員会 pm7:00～
- 28日(水) 3年以上登校日
- 31日(土) PTA環境整備 am6:30～7:30



梅の里

NO. 5

令和元年
8月7日(水)発行

子どもを育てる地域の力

校長 吉田 亮

暑中お見舞い申し上げます。
飯田町お涼み祭りの時期と共に、本格的な夏の到来となりましたが、皆様、お元気で過ごしてでしょうか。健康に注意されて、夏を乗り切っていたきたいと思います。
先月の一学期終業式の際、全校児童にクイズを出しました。



飯田町のよう
に、各山車やキ
リコごとに紋が
揃っているのは
市内でも珍しい
と思います。
「町内のマーク
が全部わかる
人はいますか？」

に対し、挙手をしたのは五名。六年生四名と四年生一名でした。ちなみに五名とも男子です。
わたしの子どもの頃はどうかだったかなとふり返ってみると、知っていた割合はもっと多かったです。さらに、自分の町内の紋は見なくても描けるのが普通で、南濱町や西大町、鍛冶町・栄町のような複雑な紋であつて

も、その町内の子どもたちは描いていたのを思い出します。しかしこれは、祭りの好きな子同士のことだったのかもしれないが…。

地域の行事には、子どもを育てる素材がたくさん転がっていると考えます。わたしが今でも心に残っているのは、小学校低学年の頃のお祭りの一場面です。学校が三限ごろで放課になり、帰宅すると夜に備えて昼寝。(その頃は、曳山運行は夕方からで、学校は七月二六日から夏休み)太鼓の音で目が覚め、慌てて南町の曳山の真横へ。(当時は、中に階段はなく、はしごを上つて乗る)乗ったような顔をしてしばらく眺めていると、近所のおじさんが、
「子ども乗るからちよつと止めて。」

と曳き手に声をかけてくれました。曳山が止まるまで待たせるのが普通ですが、余程早く乗ったような顔をしていたのでしようか、わざわざ止めてくれたことを今でも思い出しますし、その場面をまるで二階から見ていたかのように思い出すのです。地域の子ど

もに対する優しさのある大人の方が、どの町内にもおいでたのではないのでしょうか。

今回、ある町内の踊りで感心したことがあります。踊り真つ最中、CDの不具合か何かで、音が飛んでしまったことがありました。しかも歌がないのでどこに飛んだのかわかりにくい場面でした。けれども、子どもたちは、すぐにどこに飛んだのかを察知し、再び踊り始めます。しばらくすると、再度音が飛びます。それでも、子どもたちは何事もなかったように、すぐに踊りはじめ、最後のあいさつまで演じ切りました。うろたえる様子もなく、ハプニングに動じず、平然と踊り切った姿に、なかなか大した子どもたちだなあと感じ入った次第です。踊りの練習や舞台を通して、子どもが育った一つの例だと思います。

年に一度、賑やかな祭礼という非日常を幼いころから経験する珠洲の子どもたち。これは、今後の人生を豊かにしてくれるものなのかもしれません。

☆七月の珠洲市親子議会では、六年葛原さんが堂々と自分の意見を述べ、その上で市長さんに質問もする素晴らしい姿を見せられました。

◇救命講習会(心肺蘇生法・AED講習会)7月13日◇

今年も珠洲消防署から3名の方に来ていただき、6年生と保護者対象に、救命講習会を行いました。知っていることによって、守れる命もあります。積極的にAED操作に参加されたり質問されたりする姿に、頼もしさも感じました。多くの参加ありがとうございました。皆さんが、安全に過ごせますように。

